

# 2021年3月期 決算説明資料

2021年5月14日

FRAC**T**ALE

**CONNECT WITH EACH OTHER**

人とつながり、世の中に広がるサービスを。

---

I . FRACTALE株式会社 会社概要	p2
II . 2021年3月期 決算概要	p4
III . 2022年3月期 業績予想	p7
IV . セグメントの概要	p11

# I . FRACTALE株式会社 会社概要

## 会社概要

所在地	東京都千代田区霞が関三丁目5番1号 近鉄霞が関ビル4階
代表者	代表取締役社長 堀江聡寧
設立	2004年10月
主な子会社	サイトリ・セラピューティクス株式会社（再生医療） ホテル金沢株式会社（ホテル） フラクタルホスピタリティ株式会社（ホテルオペレーション） デューイ株式会社（不動産）

## メディカル事業

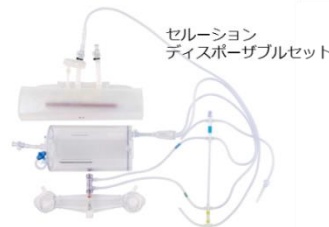
- ・医療機器の輸出入、販売
- ・脂肪組織由来再生（幹）細胞を用いた細胞治療の研究

セルーション 遠心分離器  
一般医療機器・クラスI



医療機器製造販売届出番号：  
13B1X1015500001

セルーション セルセラピーキット  
高度管理医療機器・クラスIII



セレース（酵素）



医療機器製造販売承認番号：  
23000BZX00357000

## リアルアセット事業

- ・不動産の販売、賃貸、ファンド運営
- ・ホテル開発、ホテルオペレーション



## Ⅱ. 2021年3月期 決算概要

## 連結損益数値

- ・ 成長性の高いメディカル事業が前年度比で大幅に増収。不動産事業も増収。
- ・ 新型コロナウイルスの影響によりホテル事業が大幅な減収、減益となった。
- ・ 売上高は前年度比18%増の1,388百万円、経常利益は前年度比560百万円減の△745百万円。

	2020年3月期	2021年3月期	増減額	[百万円]
売上高	1,180	1,388	207	
営業利益	△129	△731	△602	
経常利益	△185	△745	△560	
親会社株主に帰属 する当期純利益	319	△831	△1,151	

- セルーション遠心分離器およびセルーションセルセラピーキットの販売が好調に推移、サイトリ・セラピューティクス株式会社（以下、サイトリ社）の売上高は前年度比+83%の増収。サイトリ社を当社の完全子会社としたことに伴い、新株予約権に係る株式報酬費用211百万円が一過性の費用として発生、治験費用などの先行費用も嵩み、営業利益は△352百万円の赤字。
- ホテル金沢株式会社単体では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う影響を受け、宴会や周年行事のキャンセル、旅行自粛による宿泊者の大幅な減少、レストランの臨時休業等が発生。過去12ヶ月間の前年度比で、売上高は68%減（875百万円の減収）、運営総利益は413百万円の減益となった。
- 不動産事業は、テナントビルの安定収入と軽井沢に保有していた販売用不動産の売却に伴い、売上高は前年度比30%増（152百万円の増収）、営業利益は前年度比5百万円の減益となった。

## セグメント別の売上高及び利益または損失

[百万円]

		2020年3月期	2021年3月期	増減額	増減の主な要因
売上高	メディカル事業	76(※)	318	241	・セルーション遠心分離器およびセルーションセルセラピーキットの販売が好調
	リアルアセット事業	1,103	1,069	△34	・新型コロナウイルス感染症の影響、ホテル金沢の売上高が大幅に減少 ・テナントビルの安定的な賃料収入 ・軽井沢の販売用不動産売却
	ホテル事業	601(※)	414	△186	
	不動産事業	502	654	152	
	計	1,180	<b>1,388</b>	207	
営業利益	メディカル事業	△123(※)	△352	△228	・新株予約権に係る株式報酬費用211百万円を計上
	リアルアセット事業	130	△224	△355	・運営するホテルについては、雇用の維持を図りつつ、経費圧縮の徹底
	ホテル事業	△52(※)	△402	△349	
	不動産事業	183	178	△5	
	全社又は消去	△136	△155	△19	
	計	△129	<b>△731</b>	△602	

(※印が付いた4ヶ所は、連結対象となった6ヶ月間の売上高及び利益数値となります。)

### Ⅲ. 2022年3月期 業績予想



## 連結損益数値

- ・ メディカル事業が前年度比+72%で大幅な増収を計画。不動産事業も増収、増益を計画。
- ・ ホテル事業は新型コロナウイルス感染症の拡大が継続、前年度比で回復を図るが赤字は継続。
- ・ 全体売上高は前年度比44%増の2,000百万円、経常利益は前年度比465百万円増の△280百万円。

	2021年3月期	2022年3月期	増減額	[百万円]
売上高	1,388	2,000	612	
営業利益	△731	△180	551	
経常利益	△745	△280	465	
親会社株主に帰属 する当期純利益	△831	△165	666	

- メディカル事業セグメントでは、セルーション遠心分離器およびセルーションセルセラピーキットの販売が好調に推移し、サイトリ社の売上高は前年度比+72%の増収となり、過去最高売上を計画している。複数の治験費用、承認申請費用、国内製造拠点の構築費用等の先行費用が発生する計画となり営業損益は赤字を見込むが、前年度比で192百万円の増益を見込んでいる。
- ホテル金沢株式会社単体の計画では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が2021年秋頃まで継続して続き、その後穏やかに回復していく中でホテル事業の売上高も徐々に回復していく想定での売上高を見込む。今期売上高は、前年度比で90%増（370百万円の増収）を見込んでいるが、新型コロナ前の売上高比で40%減（505百万円の減収）の水準。今期運営総利益は、前年度比で193百万円の増益、新型コロナ前の運営総利益比で220百万円の減益を見込んでいる。
- 不動産事業は、保有資産の入れ替えにより開発物件から賃貸物件の比率を高めることで、売上高は前年並を見込んでいるが、営業損益は前年度比で127百万円の増益を見込んでいる。

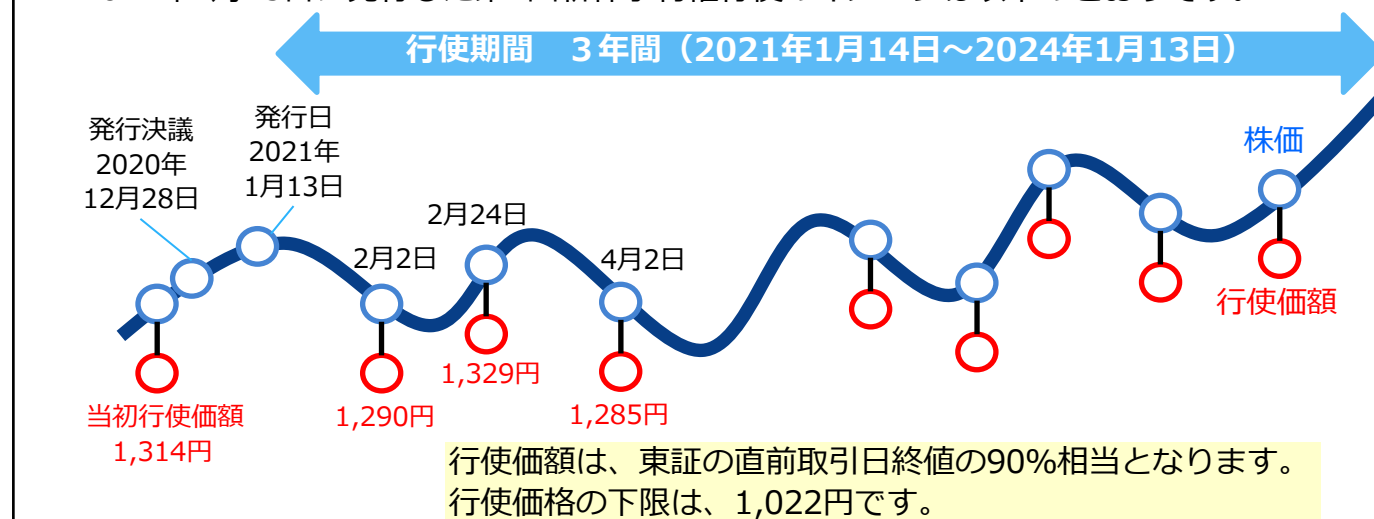
## セグメント別の売上高及び利益または損失

[百万円]

		2021年3月期	2022年3月期	増減額	増減の主な要因
売上高	メディカル事業	318	550	231	・セルーション遠心分離器およびセルーションセルセラピーキットの販売が好調に推移すると見込む。
	リアルアセット事業	1,069	1,450	381	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が2021年秋頃まで継続し、その後穏やかに回復していく前提でホテル事業の売上高を見込む。 ・既存及び新規の収益ビルの安定的な賃料収入を見込む。
	ホテル事業	414	790	376	
	不動産事業	654	660	6	
	計	1,388	2,000	612	
営業利益	メディカル事業	△352	△160	192	・治験費用、国内製造拠点費用が先行して発生すると見込む。
	リアルアセット事業	△224	140	364	・運営ホテルについては、雇用の維持を図りつつ、経費圧縮の徹底により前年度比で赤字幅の縮小を見込む。
	ホテル事業	△402	△165	237	
	不動産事業	178	305	127	
	全社又は消去	△155	△160	△5	
	計	△731	△180	551	

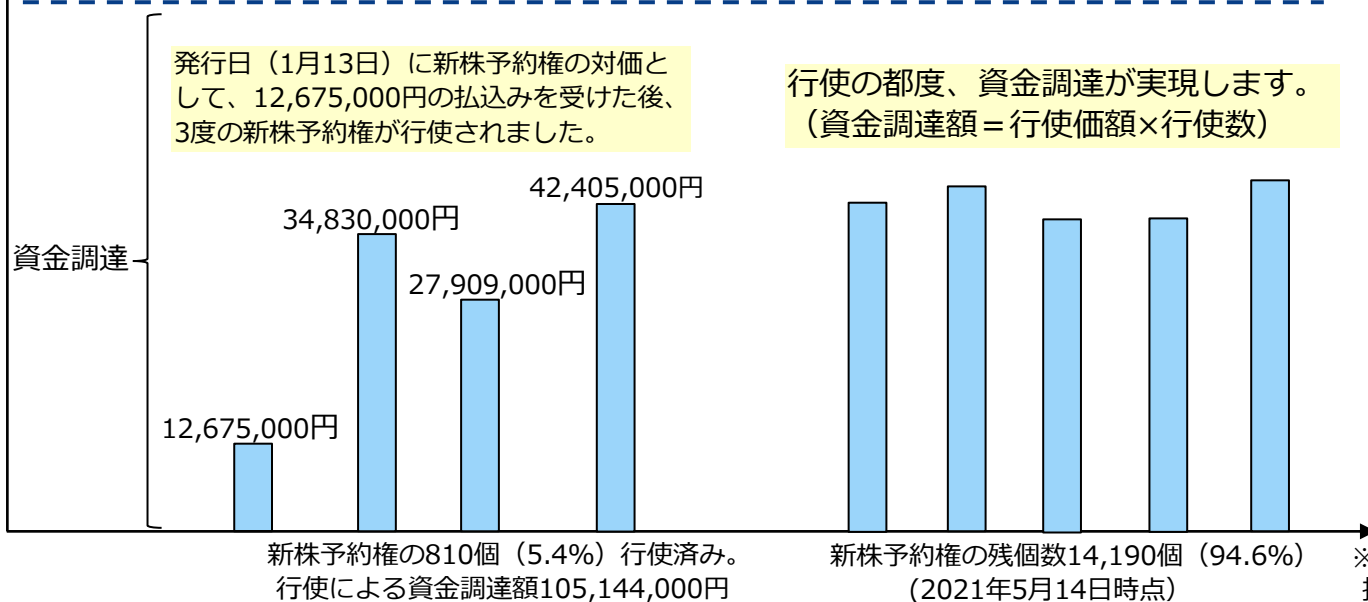
## 資金調達（第2回新株予約権について）

2021年1月13日に発行した第2回新株予約権行使のイメージは以下のとおりです。



### 第2回新株予約権概要 (2021年1月13日発行)

割当先 Japan International Partners LLC
新株予約権の個数 15,000個
資金調達の額 約19億83百万円  (当初行使価額で全て行使された場合の金額。実際には複数回の行使により段階的に資金調達がなされます。)
資金使途 ・臨床試験等の推進資金 ・脂肪組織由来再生(幹)細胞の保存精製センターの設備投資 ・セルーションシステムの国内製造拠点構築 ・再生医療関連企業との業務資本提携資金



※本図はイメージであり、実際の当社株価の推移を予想もしくは保証するものではありません。

## IV. セグメントの概要

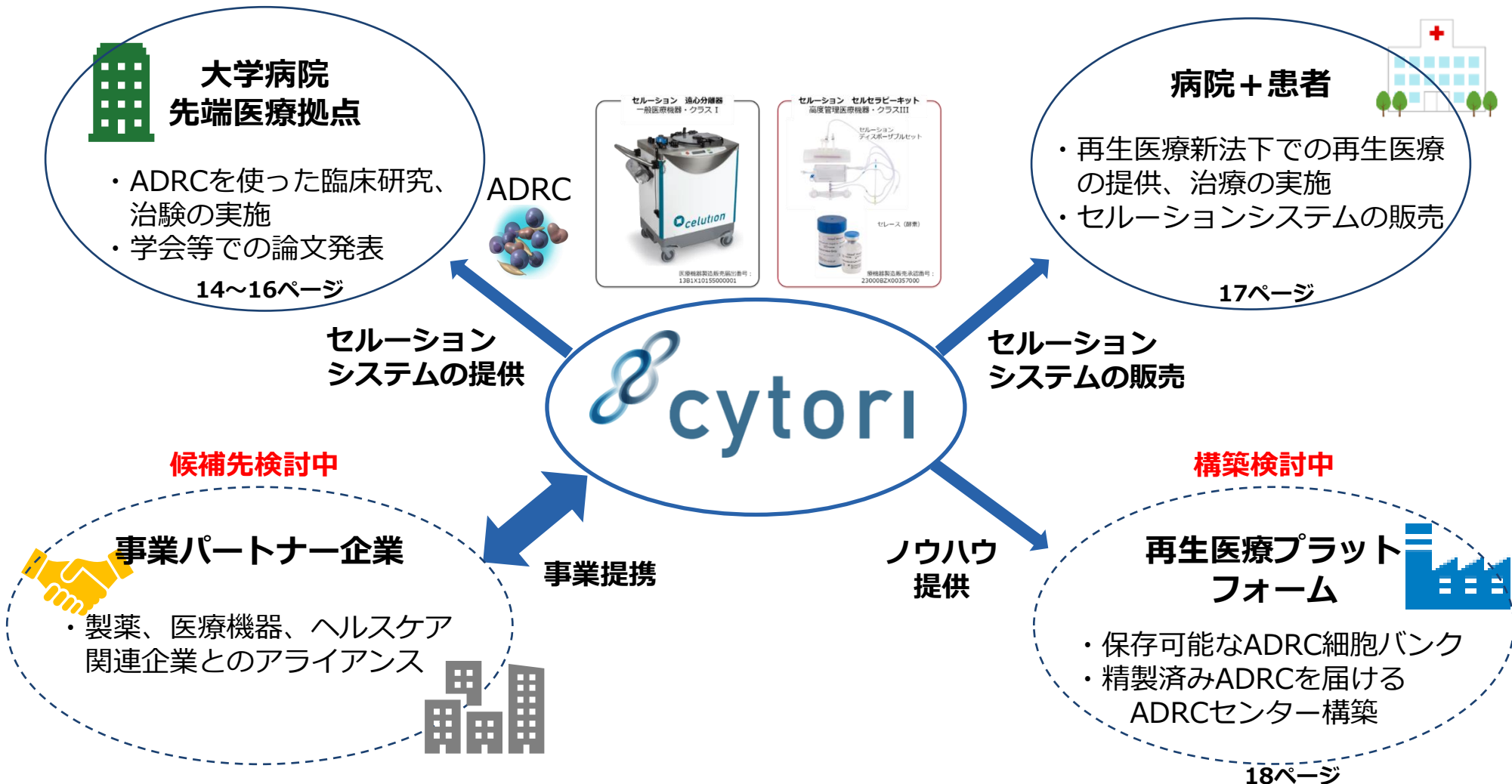
## サイトリ社の会社概要

社名	サイトリ・セラピューティクス(株) (Cytori Therapeutics K.K.)
所在地	東京都千代田区大手町 1 - 1 - 1 大手町パークビルディング7F
代表者	代表取締役 白浜靖司郎 代表取締役 堀江聡寧 (FRACTALE(株) 代表取締役)
設立	2002年11月
決算日	12月31日
株主	FRACTALE株式会社 100%
事業内容	医療機器の製造・輸出入及び販売、医療機器の修理及び賃貸、幹細胞バンクシステムの導入・運用、 脂肪組織由来再生(幹)細胞を用いた細胞治療の研究

〈会社沿革〉	2012年9月	セルレーション、セルセラピーキットの医療機器としての認可
	2018年11月	セルセラピーキットの高度管理医療機器（クラスⅢ）としての承認
	2019年4月	NASDAQ上場の米国Cytori社からマネジメントバイアウトにより日本法人化
	2019年11月	男性の腹圧性尿失禁に関する国内治験の終了（12月に製造販売承認申請の届出）
	2020年1月	疼痛・線維症の調節において脂肪組織由来細胞を使用する方法について特許登録
	2020年3月	肝硬変に関する国内治験の終了
	2020年7月	株式交換によるFRACTALE(株)の完全子会社化
	2021年3月	肝硬変に関する製造販売承認申請の届出

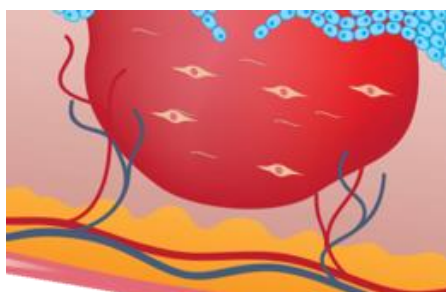
サイトリ社のビジネスモデル

サイトリ社では、脂肪組織由来再生(幹)細胞 ADRCを活用し、再生医療が患者さんにとって低価格で身近な治療法となるよう努めております。



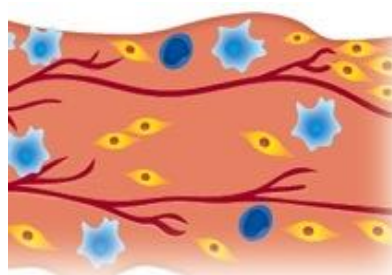
## 脂肪組織由来再生(幹)細胞 ADRCの作用

- 特許技術のプラットフォームであるセルーションシステムを用いて、脂肪組織由来再生(幹)細胞ADRCを抽出することが可能です。体外培養を必要とせず、その日のうちに患者に投与します。セルーションシステムは、国内で厚生労働省の認可を受けた医療機器であります。
- 本治療は、患者のADRCを、体内に戻すことで様々な治療効果を期待するものです。ADRCは、障害部位を探し当てて自発的にその部位に集積するホーミングとよばれる能力を持っていると考えられています。そのためADRCを経血管的に投与、乃至は患部に直接投与することにより、損傷ないしは機能低下を来した組織にADRCが集積してその修復や再生を促し症状の改善が期待されます。
- ADRCの作用は、血管新生、炎症の調整、繊維化の減少/組織修復といった作用があると考えられています。



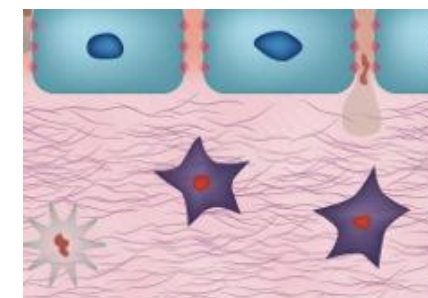
血管新生/血管障害

- 血管新生の促進
- 血管構造の正常化
- 血管収縮能の改善



炎症

- 炎症性因子と抗炎症因子の調整
- 炎症性細胞の機能と抗炎症細胞の調整



繊維化/組織修復

- 線維化の形成を減少
- 線維化組織のリモデリング

## 国内治験の状況

日本発、世界初の国内治験が終了しており、製造販売承認、保険収載を目指しています。

## 国内治験終了（フェーズⅢ終了）



## ● 男性腹圧性尿失禁

2015年5月～ 「男性腹圧性尿失禁に対する非培養自己ヒト皮下脂肪組織由来再生（幹）細胞の傍尿道注入治療の有効性及び安全性を検討する多施設共同非盲検非対照試験」（名古屋大学医学部附属病院、他3施設、全4施設）

2019年12月～ 製造販売承認申請中

## ● 肝硬変（非アルコール性脂肪肝炎）

2017年3月～ 「肝硬変に対する自己皮下脂肪組織由来再生（幹）細胞の経肝動脈投与による肝再生療法の有効性及び安全性を検討する多施設共同非盲検非対照試験」（金沢大学医学部附属病院、大阪医科大学附属病院、全2施設）

2021年3月～ 製造販売承認申請中



## 豊富なパイプライン

海外治験、国内臨床研究に裏付けされたADRCの有効性と安全性データの活用

## 海外治験

治験

製造販売  
承認申請

保険収載

- 乳房再建 : 欧州 (RESTORE-2)
- 急性心筋梗塞 : 欧州 (APOLLO) (ADVANCE)
- 慢性心筋虚血 : 米国 (ATHENA) (ATHENA II)、欧州 (PRECISE)
- ハムストリング断裂 : 米国 (RECOVER)
- 変形性膝関節症 : 米国 (ACT-OA)
- 強皮症 : 米国 (STAR)

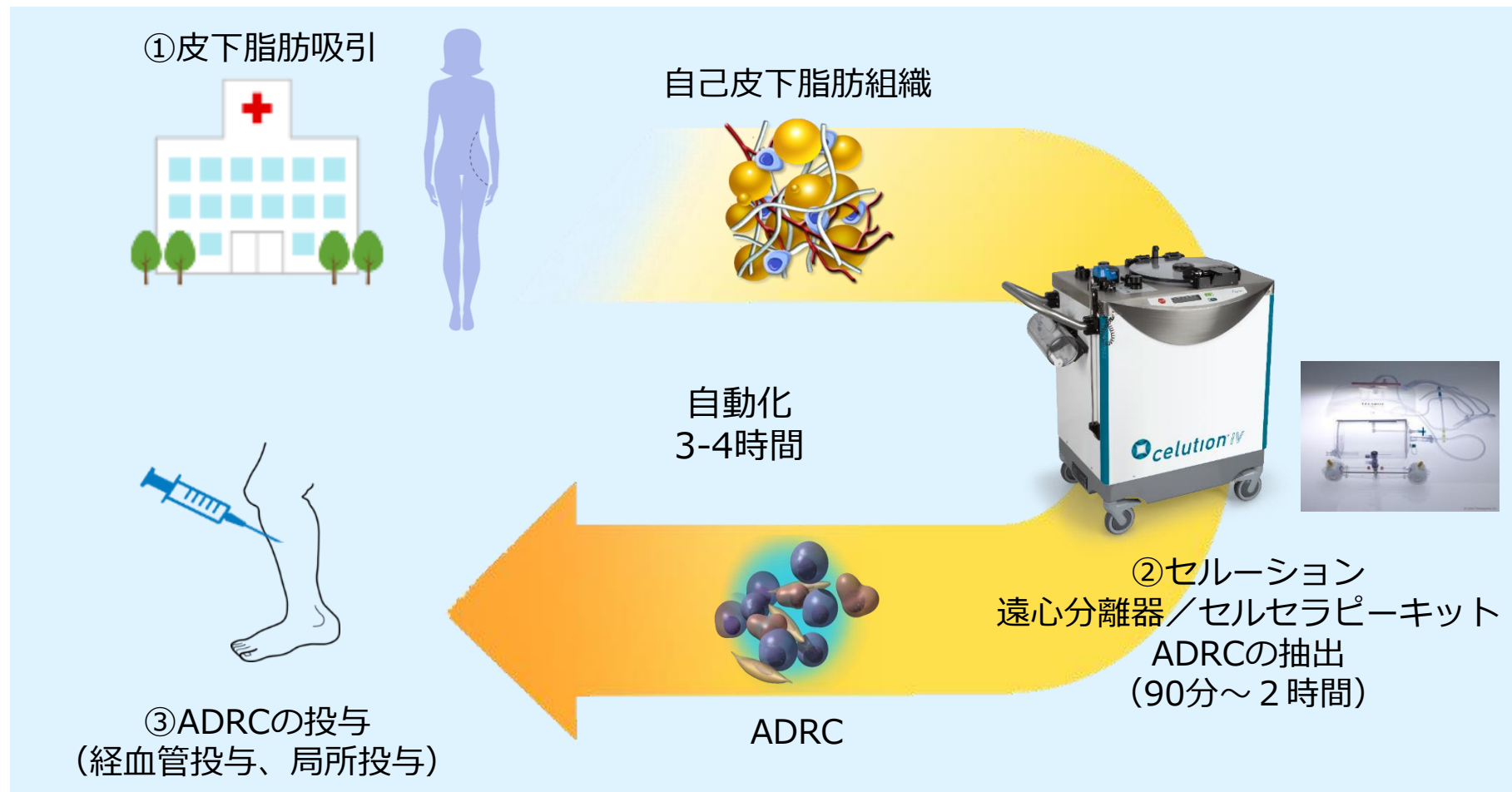
## 国内臨床研究

臨床研究

- 重症虚血肢 : 名古屋大学医学部附属病院、信州大学医学部附属病院
- 虚血性心不全 : 金沢大学医薬保険研究域
- 乳房再建 : 鳥取大学医学部附属病院、湘南鎌倉総合病院
- 難治性皮膚癬 : 大阪大学医学部附属病院
- 腹圧性尿失禁 : 名古屋大学医学部附属病院
- 肝硬変 : 金沢大学医薬保険研究域

## 病院における治療の流れ

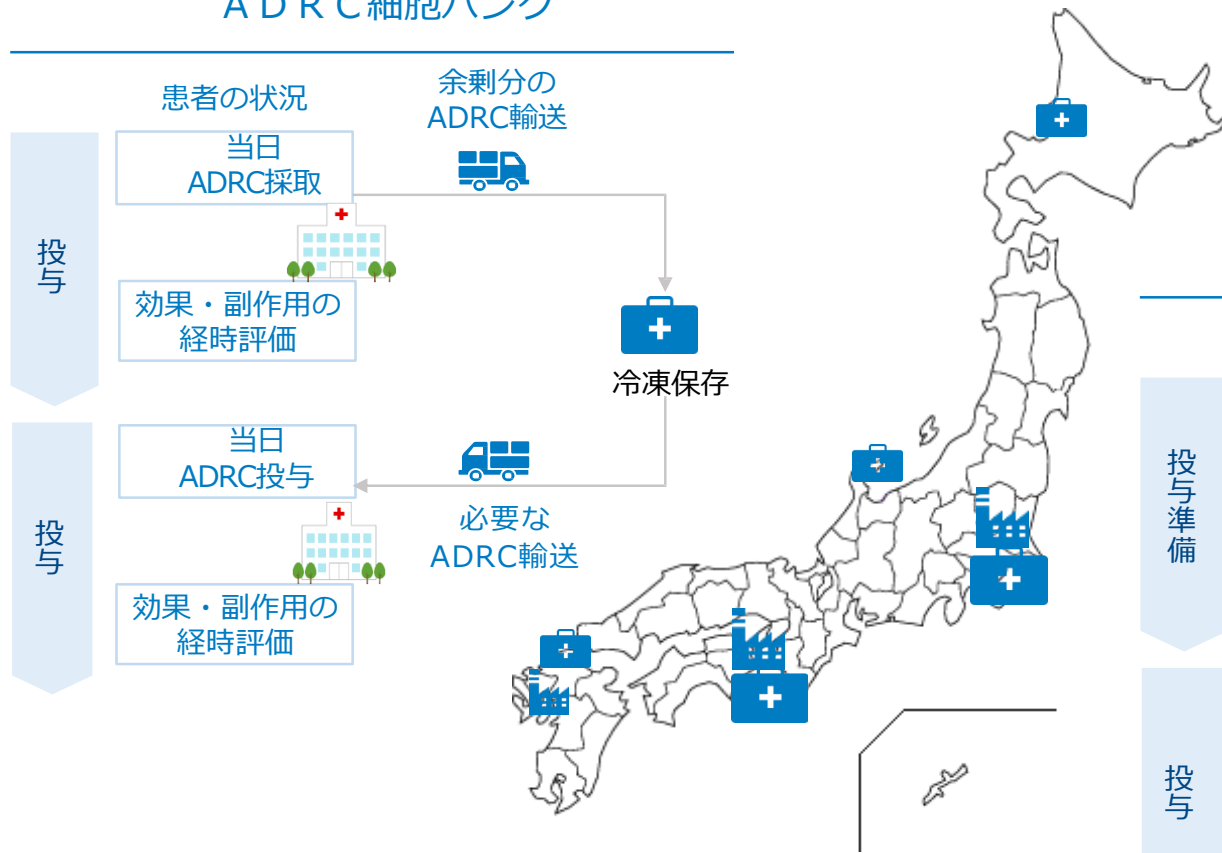
- 脂肪組織由来再生(幹)細胞 ADRCの治療は、セルーションシステムの自動化技術により、細胞培養が不要で、本治療は数時間で終了します。
- 自動化によるコスト削減、本人の細胞で拒絶反応が少なく、再生医療の本格的な拡大につながります。



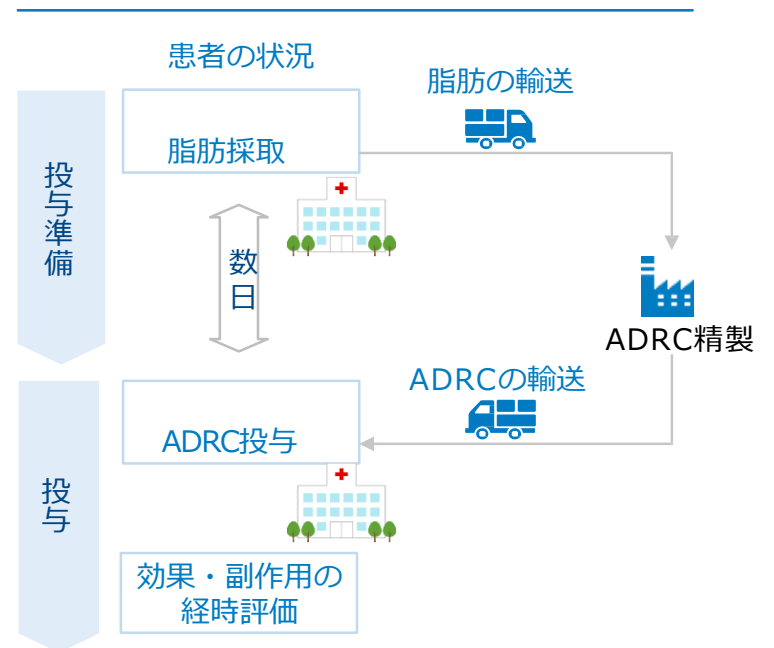
再生医療プラットフォームの構築

- 患者さんが再生医療を身近に受けられる「再生医療プラットフォームの早期構築」を目指します
- ADRCを長期保存できるADRC細胞バンク、セレーションシステムを持たない病院に精製済みADRCを届けるADRCセンターを日本国内に構築する計画があります

ADRC細胞バンク

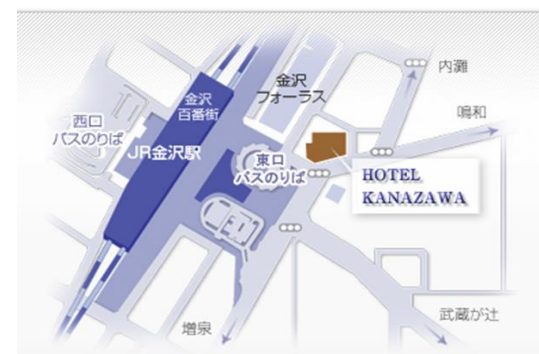


ADRCセンター



ホテル金沢の会社概要

社名	ホテル金沢株式会社
所在地	石川県金沢市堀川新町1番1号（JR金沢駅より徒歩2分）
代表者	代表取締役 藤田 晃充 代表取締役 堀江聡寧（FRACTALE(株) 代表取締役）
設立	2000年9月（ホテル竣工 2008年4月）
資本金	90,000,000円
決算日	8月31日
株主	ホテルKANAZAWA合同会社 100%
従業員数	47名（他、パート24名）
事業内容	ホテル／レストラン／宴会・ブライダル事業



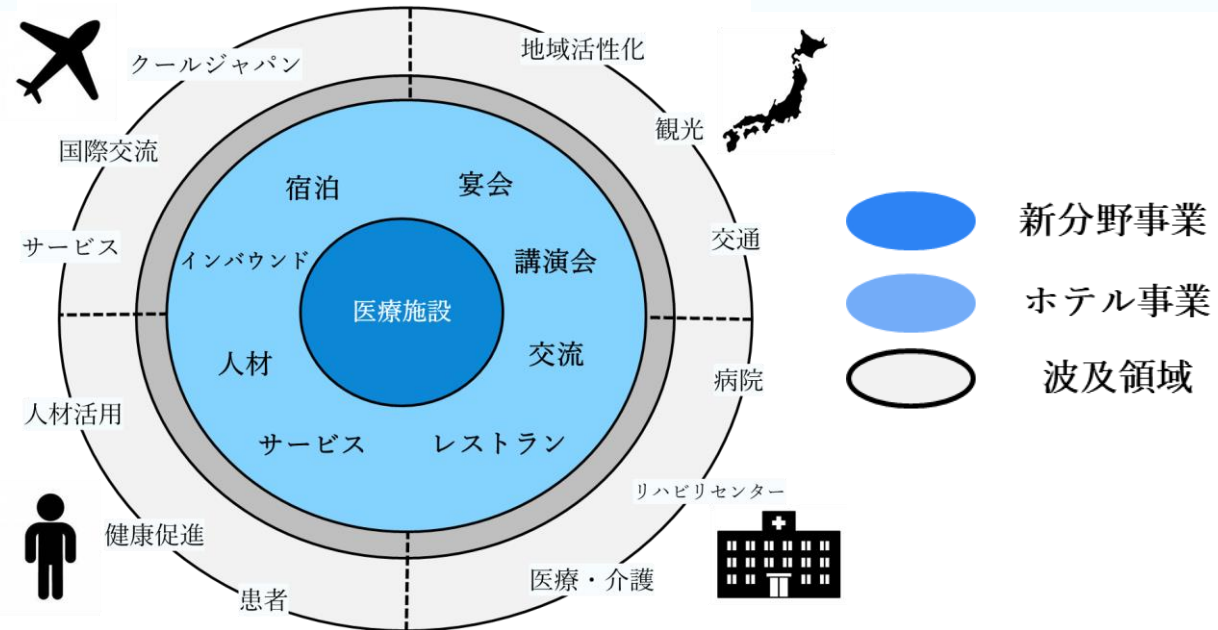
JR金沢駅東口ロータリーに面し、北陸新幹線改札出口から徒歩2分、金沢駅前のシンボルである鼓門を見渡すことのできるホテルとして、その立地の優位性を生かし、国内外の旅行客だけでなくビジネス利用客にも利便性を高く評価いただいております。

収容人数2,000人を誇る大宴会場をはじめ、大小11の宴会場・会議室及びチャペル、パーティールームを有し、小規模な家族宴会、大規模な各種学会にも対応できる石川県を代表するコンベンション施設の保有。

メディカルツーリズムへの展開

ホテル宴会場スペース等の有効活用、  
一部の業態転換を目指す

メディカルツーリズムと  
医療施設との波及効果を目指す



- ホテルの宿泊業と、再生医療を組み合わせた事業モデルで、“再生医療×宿泊をテーマとしたメディカルツーリズム”の事業展開を検討。サービス提供は2022年春頃からを予定。
- 日本の観光資源と、世界で最先端をいく日本の再生医療術を組み合わせた事業モデルが、ホテル業界においても競争優位性を築くことが可能
- サイトリ・セラピューティクス製品は、日帰りでの処理が可能な再生医療システムの特質を有していることから、再生医療施設を活用したメディカルツーリズムサービスの展開の検討が可能

保有不動産の販売・賃貸・開発

- 高級別荘地として名高い旧軽井沢の別荘分譲地 (7区画)

1区画: 1032.79㎡ (312坪)  
2区画: 1013.37㎡ (306坪)

5区画: 1181.28㎡ (357坪)  
6区画: 1101.01㎡ (333坪)



- 名古屋栄エリアに保有する不動産の賃貸



- 箱根高級旅館プロジェクト  
隈研吾氏デザインにより、閉館した高級旅館を再生



- 本資料は、当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料には、監査法人による監査を受けていない管理数値が含まれています。
- 本資料に含まれている今後の戦略、計画、将来の見通し、並びにその他将来の事象等に関する記載には、本資料の発表時点において合理的に入手可能な情報に基づく当社の仮定、見込み等が含まれます。その為、実際の業績、開発進捗等は、今後の研究開発の成否や将来における当局の対応、事業パートナーの状況等、現時点では不明又は未確定な原因によって、本資料の記載とは異なる結果となる可能性があります。
- 今後、新たな情報や将来の出来事等が発生した場合でも、当社は本資料に含まれる内容の更新、修正を行う義務を負うものではありません。

今後とも更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先：当社ホームページIR問い合わせ  
<https://frac-tale.co.jp/contact/>